

## 「？」と「！」

本日の後期始業式にあたり「？」と「！」のお話をします（「？」「！」を掲示）。「？」は「クエスチョンマーク（ハテナ）」、「！」は「エクスクラメーションマーク（ビックリ）」という記号です。この記号のだいたいの意味はわかりますよね。「？」と「！」が勉強にとって、とつても大事というお話になります。

授業中、先生に教えてもらったり、教科書を読んだりして、様々な知識を身につけることはもちろん大切なことです。でも、そういう受け身の勉強だけが大事というわけではありません。「なんでだろう？」「どうしてかな？」「もっといい方法はないかな？」という疑問や不思議を、自分で見つけ出し、解決しようと試みるのが大事なのです。その疑問や不思議が「？」です。夏休み中に取り組んだ理科の自由研究や創意工夫展の作品づくりは「？」がスタートだったはずですが、後期の授業も同様です。1年生の国語では日本最古の物語「竹取物語」を学習します。昔話の「かぐや姫」のお話として覚えている人も多いでしょう。小学校でも「竹取物語」を読む練習をしたのではありませんか。「竹取物語」と「かぐや姫」では何が同じで何が違うのでしょうか。面白いところをたくさん見つけてください。2年生の家庭科では「快適で安全な住生活」を学習します。家庭内の事故で亡くなってしまう方は、交通事故の3.8倍とも言われています。誰にとつても住みやすい家とはどのような家なのでしょうか。また快適性だけでなく乳幼児も高齢者も安全に暮らすためにはどのような工夫が必要なのでしょうか。家庭科の授業では体験活動を通して見つけていくことができるそうです。3年生の理科では「物体の運動（モノが動く時の法則）」を学びます。今皆さんが乗っている「地球」は時速1700kmという猛スピードで回転しています。なぜ、私たちはその速さを感じないのでしょうか。当たり前になっていることにも、そこに様々な法則があるのかもしれない。後期に行われる各教科の授業では、皆さんの気持ち次第でたくさんの「？」（疑問や不思議）と出会うはずですが、知的な好奇心で教室がいっぱいになるはずですが。

疑問をもち、その答えにたどり着けば、「なるほど！」「そうか！」という納得に至ると思います。その納得が「！」です。他にも、美術の時間に、友達の作品をみて「すごい！」と感じる感動も「！」です。数学の問題を解く際、友達が自分とは違う解き方をしていることを発見したのも「！」だと思います。そういった「！」（納得や感動、発見）が教室にたくさんあれば、皆さんの学びはどれほど深いものになるのでしょうか。

童謡「ぞうさん」の詩を作詞したことで有名な詩人のまど・みちおさんは、今から5年前、104歳でおなくなりになるまで作品を作り続けていました。晩年、まどさんは、こんな言葉を残しています。「世の中に『？』と『！』と両方あれば、ほかにはもう何もいらん」。まどさんのように「何もいらん」と言い切るのは難しいかもしれませんが、「？」と「！」が、私たちの勉強や生活になくてはならない、とても大事なものだということは間違いのないことだと思います。

これから始まる後期、みなさんがたくさんの「？」と「！」に出会うことを期待し、後期始業式の式辞とします。